

 作成日
 :
 2013
 年
 3
 月
 28
 日

 改訂日
 :
 2025
 年
 10
 月
 8
 日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 : ゼオセライト モデリングリキッド

会社名 : YAMAKIN株式会社

住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号

電話番号 : 06-6761-4739 FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類

健康に関する有害性

・皮膚刺激性
 ・眼に対する重篤な損傷性
 ・発がん性
 ・特定標的臓器毒性(単回ばく露)
 ・特定標的臓器毒性(反復ばく露)
 ・区分2

環境に関する有害性

・水生環境有害性 短期(急性) : 区分2

ラベル要素

·表示:



注意喚起語 : 危険危険有害性情報 : 皮膚刺激

重篤な眼の損傷

発がんのおそれの疑い 呼吸器の障害のおそれ

長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ

水生生物に毒性

注意書き

・安全対策 : 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

・応急措置 : 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着

用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ち

に医師に連絡すること。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。

・保管: 直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い冷暗所に保管すること。



: 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委 廃棄

託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【3. 組成及び成分情報】

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

単一製品・混合の区別 : 混合物

成分及び含有量

//////////////////////////////////////					
化学物質名	化学式	含有率 wt%	CAS No.		
蒸留水	H ₂ O	95-100	7732-18-5		
過酸化水素	H_2O_2	< 5	7722-84-1		
その他	_	<1	_		

【4. 応急措置】

目に入った場合 : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズ

を着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けるこ

と。

直ちに医師に診断/手当を受けること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。多量の水/

石鹸で洗うこと。

皮膚 刺激が生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 吸入した場合

直ちに医師に診断/手当を受けること。

飲み込んだ場合 : 口の中をよく洗浄した後、医師の診察を受けること。

【5. 火災時の措置】

消火剤 : 周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用す

る。

使ってはならない消火剤 : 棒状注水。

特有の危険有害性 : 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法 : 消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

: 消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。 消火を行う者の保護

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項

・保護具及び緊急時措置: 作業者は適切な保護具を着用し、服、皮膚への接触や吸入を避ける。

・環境に対する注意事項 : 河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。



: 吸収剤(例:乾燥土、砂、不燃性布)で流出物を拭き取り、化学品廃棄容器 ・封じ込め及び 浄化の方法/機材

に回収する。

大量の流出には盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて化学品 廃棄容器に回収する。 回収した漏洩物は、後で産業廃棄物として適正に

処分廃棄する。

二次災害の防止策 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ

【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い

• 技術的対策 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用

する。

• 局所排気/全体換気 : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

: データなし •接触回避

•安全取扱注意事項 : 使用前に添付文書を入手すること。

> すべての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙しないこと。

保管

• 技術的対策 : 適用法令を遵守する。

: 換気の良い場所で保管すること。容器は遮光し、密閉しておくこと。 • 保管条件

• 容器包装材料 : データなし

【8. ばく露防止及び保護措置】

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

成分			日本産業衛生学会	ACGIH
		化学式	(2025年版)	(2025 年版)
			許容濃度	許容濃度 TLV-TWA
			mg/m^3	mg/m^3
蒸留水		H ₂ O		_
過酸化水素		H_2O_2		

: 局所排気装置、手洗い・洗顔設備など。 設備対策

保護具

・ 呼吸器の保護具 : 適切な呼吸用保護具を着用すること。 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。 : 適切な眼の保護具を着用すること。 ・眼の保護具 ・皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

【9. 物理的及び化学的性質】



物理的状態、形状、色など

・物理状態
・色
・臭い
・融点/凝固点
: 液体
: 無色透明
: 無臭
・融点/凝固点
: データなし

・沸点又は初留点及び沸 : データなし

点範囲

・可燃性 : データなし
 ・爆発下限界及び上限界 : データなし
 ・引火点 : データなし
 ・自然発火点 : データなし
 ・分解温度 : データなし
 ・pH : データなし
 ・動粘性率 : データなし

・溶解度 : 水に可溶。・n-オクタノール/水分配 : データなし

係数

・蒸気圧 : データなし・密度及び/又は相対密度 : データなし・相対ガス密度 : データなし・粒子特性 : データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性・反応性 : 通常の条件では安定である。

危険有害反応の可能性 : データなし避けるべき条件 : データなし混触危険物質 : データなし危険有害な分解生成物 : データなし

【11. 有害性情報】

急性毒性 : 分類できない

皮膚腐食性/刺激性 : [区分 2] 過酸化水素 眼に対する重篤な : [区分1] 過酸化水素

損傷性/刺激性

呼吸器感作性または : 分類できない

皮膚感作性

生殖細胞変異原生 : 分類できない

発がん性: [区分2] 過酸化水素生殖毒性: 分類できない

特定標的臟器毒性

単回ばく露 : [区分2 (呼吸器)] 過酸化水素 反復ばく露 : [区分2 (呼吸器)] 過酸化水素

誤えん有害性 : 分類できない



【12. 環境影響情報】

生態毒性

水生環境有害性 短期 : [区分2] 過酸化水素

(急性)

水生環境有害性 長期 : 分類できない

(慢性)

残留性・分解性 : 分類できない 生体蓄積性 : 分類できない 土壌中の移動性 : 分類できない オゾン層への有害性 : 分類できない

【13. 廃棄上の注意】

・残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共

団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。

・汚染容器及び包装 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

・海上規制・航空輸送・国連分類・該当しない・該当しない

国内規制

・陸上輸送 : 該当する法律に従う。

・海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う・航空輸送 : 航空法の規定に従う。

安全対策:輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。

転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条

 $\mathcal{O}.2)$

過酸化水素

化学物質管理促進法(PRTR 法): 該当しない毒物及び劇物取締法: 該当しない大気汚染防止法: 該当しない船舶安全法: 該当しない航空法: 該当しない



港則法: 該当しないじん肺法: 該当しない

【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。

注意事項は、通常の取扱いを対象としたものであり特別の取扱いをする場合には、用途・用法に適した 安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品の使用中 止、廃棄するまで大切に保管してください。

また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- ・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイト ホームページ
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告 (2025年度)
- ACGIH-TLVs and BEIs (2025)

【改訂履歴】

01 2013年 3月 28日 初版

02 2017年 12月 19日 2版

03 2025年 10月 8日 3版